

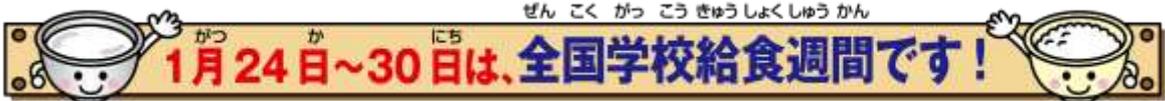
1月 もぐもぐだより

もりもり食べてしっかり運動 心も体もみな元気

児童数配付

川崎市立 幸町 小学校
令和7年 1月17日(金)

9日から給食が始まりました。久しぶりの給食に、教室からはたくさんの「おいしい!」の声があがりました。今年もおいしい! 安心・安全な給食を目指しますので、よろしくお願いいたします。千支の「巳」(へび)は、食べる時に丸のみしますが、給食はよくかむことを意識して味わって食べましょう。



日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町(現:鶴岡市)の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA(アジア救済公認団体)」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬休業と重ならない1月24日~30日までの1週間で「全国学校給食週間」とすることが定められました。

全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思います。



学校給食の移り変わりを見てみよう!



<p>明治22年</p> <p>私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。</p>	<p>戦後(昭和20~30年代)</p> <p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などをを使った給食。</p>	<p>現在</p> <p>地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。</p>
---	---	--

災害時の食の備え

各地で大きな災害が起きています。災害発生直後は支援が届かないということを前提に、一人ひとりが

自分の命は自分で守ることを意識し、普段から備えをしっかりとしておくことが大切です。

★非常食・日常食品・持ち歩き用品の3つを備えておきましょう。水と熱源は必需品です。

そのまま食べられる
非常食

アルファ化米、缶詰、レトルト食品、菓子類など

ローリングストックで備える
日常食品

お米、乾麺、乾物、日持ちのする野菜・果物、調味料など

外出時の
持ち歩き用品

飲料水、チョコレート・あめなどの菓子

水は調理用も含めて
1人1日3リットル必要とされています。できれば1週間分備えておく目安です。

1人1日3リットル

カセットコンロとボンベがあれば、温かい料理を食べることができます。あらかじめ使い方を確認しておきましょう。

2月の給食について

2月の給食目標は、「地域で生産される食品について知ろう」です。寒い時期なので、温かい汁物や季節の食品をできるだけ多く取り入れました。

季節の食品 大根、キャベツ、ごぼう、ほうれん草、小松菜、セロリ、長ねぎ、白菜、ブロッコリー、のり

かながわ産品学校給食デー2月5日(水)の給食

ごはん 焼きのり 牛乳 さばの塩焼き キャベツのおかかあえ 豆腐と大根のトロみ汁
神奈川県内産の米・焼きのり・牛乳・キャベツ・大根を使用した献立です。

※節分の日になんで、2月3日には袋入りの「いり大豆」がつかます。



2回目の自校献立のお知らせ

実施日:2月21日(金)

献立:3年生の総合的な学習の時間の「すごいね!大豆のパワー!」の学習とコラボしました。各クラスで考えた3つの料理の中から、投票で1位となった料理を取り入れた給食を予定しています。お楽しみに!